

平成27年度 日本学生支援機構

優秀学生顕彰

産業イノベーション・ベンチャー分野、国際交流分野を新設しました。



経済的理由により修学に困難がありつつも、優れた業績を挙げた学生・生徒に対して、これを奨励・支援します。

奨励金

大賞：50万円、優秀賞：30万円、奨励賞：10万円

応募を希望される方は、
在籍する学校窓口まで申し出てください。

JASSO Students of the Year

日本学生支援機構は、輝いている学生を応援します。



平成27年度 優秀学生顕彰

JASSOでは、経済的な理由により、修学に困難がありつつも、優れた業績を挙げた学生・生徒に対して、これを奨励・支援し、21世紀を担う前途有望な人材の育成に資することを目的として、多くの方々から寄せられた寄附金を基に優秀学生顕彰を行っています。

応募の概要

1 応募資格及び分野

次の応募資格を満たし、かつ応募分野において優れた業績を挙げた者を対象とします。

(1) 応募資格

大学(学部)の3年生以上、短期大学の2年生以上、高等専門学校
の5年生以上、専修学校専門課程の2年生以上で、かつ本機構の
第二種奨学金の推薦基準を満たしていると学校長が認める者。

※奨学金を借りていない方も応募できます。

(2) 分野

- 学術 ● 文化・芸術 ● スポーツ ● 社会貢献
- 産業イノベーション・ベンチャー ● 国際交流

2 奨励金

大賞:50万円、優秀賞:30万円、奨励賞:10万円

3 応募方法及び締切

応募は在籍校を通じて行います。応募者は在籍校で決められた
締切日に従い、学校の窓口へご応募ください。(在籍校から機構へ
の締切は平成27年8月31日です。)

※提出書類は紙に出力したものと、電子データの両方をご提出ください。
書類は機構ホームページからダウンロードしてください。

<http://www.jasso.go.jp/kensyo/>

4 入賞者の決定及び通知

応募者の実績及び将来性などの観点から、選考委員会の厳正な
審査のうえ入賞者を決定し、推薦のあった学校長宛に結果を通知
するとともに、機構ホームページ等で公表します。

5 表彰式

表彰式は大賞・優秀賞に入賞した者を対象として行います。奨励賞
入賞者については、在籍する学校を通じて表彰状を授与します。

表彰式開催日 平成27年12月12日(土)

6 入賞者の会

本顕彰の入賞者は、「JASSO顕彰学生の会(JASSOYAA/ジャッソ・
ワイエイエ)」の会員となります。

※会員には機構の広報活動へのご協力をお願いすることがあります。

この応募の概要は、本事業の「平成27年度 日本学生支援機構 優秀
学生顕彰の手引き」の内容をまとめたものです。「手引き」の内容はホーム
ページにてご覧いただけます。

<http://www.jasso.go.jp/kensyo/>

お問い合わせ

独立行政法人日本学生支援機構 政策企画部 広報課
〒162-8412 東京都新宿区市谷本村町 10-7
電話:03-6743-6011 FAX:03-6743-6662

ご提出をいただいた情報は、本顕彰にのみ利用します。その他の目的には
利用されません。ただし、入賞者については、いただいた情報の一部を機構の
広報に使用する場合があります。

平成26年度 優秀学生顕彰 大賞受賞者一覧(分野別・五十音順)

学術分野 5名

大森 智織 北海道大学 薬学部 薬学科 6年
〔細胞生物学〕アルツハイマー病の早期診断方法
の確立を目指した研究。新規の血液バイオマ
ーカーの有用性の検証。国内学会発表、海外学会(北
米神経科学学会)発表予定。国際学術誌掲載。

熊谷 裕美 東北大学 医学部 医学科 6年
〔予防医学〕食事パターンと大腸がん罹患リスクの
関連についての前向きコホート研究。DFAパターン
(高乳製品・高野菜果物・低飲酒)の度合いが高い
者ほど大腸がん罹患リスクが低下した。国際学術
誌掲載。国内学会発表。

野崎 大幹 慶應義塾大学 環境情報学部 環境情報学科 3年
〔情報工学〕公共空間でのディスプレイと人の
インタラクションに関する研究。国際学会発表。
CHI2014 Student Research Competition 学
部生部門において3位入賞。国内学会発表。優秀
論文賞受賞。

古田 潤平 山梨大学 医学部 医学科 6年
〔医学〕CD271/NGFRが、T細胞による腫瘍の拒
絶に必須のサイトカインであるIFN- γ によって、
メラノーマ細胞上に発現増強され、T細胞からの
認識を低下させていることを明らかにした。国際
学術誌掲載。

山下 仁義 東京工業大学 生命理工学部 生命科学科 分子生命コース 4年
〔分子ロボティクス〕生物と無生物を組み合わせた
新規機能を持つ分子ロボットに関する研究。国内
学会発表。BIOMOD2012 国内大会優勝・世界
大会で5つの賞を同時受賞。細胞を模倣した細胞
サイズの液滴複製に関する研究・発明。特許出願。
国際学術誌投稿。

文化・芸術分野 2名

小野 ゆかり 日本大学 生物資源科学部 海洋生物資源学科 4年
〔将棋〕第5回女子アマ王位戦全国大会優勝。第
44回女流アマ名人戦名人クラス優勝。第45回女
流アマ名人戦名人クラス優勝。第22回アマチュア
女王位決定戦3番勝負勝利(タイトル奪取)。第34
回学生女流名人戦優勝。

阪田 知樹 東京藝術大学 音楽学部 器楽科 鍵盤楽器専攻 ピアノ/3年
〔ピアノ〕世界5大国際ピアノコンクールの一つで
ある、アメリカ・テキサス州で2013年6月に開催
された第14回ヴァン・クライバーンピアノ国際コン
クールにて最年少19歳で4-6位に入賞。賞金を獲
得。アメリカでの演奏会ツアーも用意されている。

スポーツ分野 8名

川元 奨 日本大学 文理学部 体育学科 4年
〔陸上〕セイコーゴールデングランプリ陸上2014
東京 800メートル 1位。第98回日本陸上競技選
手権大会 800メートル 1位。第93回関東学生陸
上競技対校選手権大会 800メートル 1位。第6回
東アジア競技大会 800メートル 1位。第97回日本
陸上競技選手権大会 800メートル 1位。

岸 彩乃 金沢学院大学 スポーツ健康学部 スポーツ健康学科 4年
〔トランポリン〕ロンドンオリンピック予選大会 個
人 10位。ロンドンオリンピック 個人 14位。ワ
ールドカップボルトガル大会 シンクロナイズド 3位。環
太平洋選手権大会 個人 3位。シンクロナイズド団
体 2位・3位。第1回全日本年齢別大会 17歳以上
の部個人優勝。

清水 希容 関西大学 文学部 総合人文学科 アジア文化専修 3年
〔空手〕第41回全日本空手道選手権大会 優勝。第
68回国民体育大会空手道競技 優勝。第6回東ア
ジア競技大会 優勝。第8回世界学生空手道選手権大
会 優勝。第9回 世界学生空手道選手権大会 優勝。

高野 綾 同志社大学 スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 3年
〔競泳〕2012年ロンドンオリンピック 800メートル
フリーリレー 8位入賞。400メートル自由形 26位。
2013年世界水泳選手権(バルセロナ) 800メー
トルフリーリレー 8位入賞。第88回日本選手権 400
メートル自由形 2位。2012年ジャパンオープン
400メートル自由形 優勝。

登坂 絵莉 至学館大学 健康科学部 健康スポーツ科学科 3年
〔スリリング〕ユニバーシアード競技大会 女子レス
リング48キログラム級 優勝。レスリング世界選手
権 女子レスリング48キログラム級 優勝。天皇杯
全日本レスリング選手権大会 女子レスリング48
キログラム級 優勝。女子レスリングワールドカ
ップ 個別対抗戦 女子レスリング48キログラム級 優勝。
明治杯 全日本選抜レスリング選手権大会 女子レ
スリング48キログラム級 優勝。

長谷川 翼 日本大学 文理学部 体育学科 3年
〔スピードスケート〕第85回日本学生氷上競技選
手権大会 スピードスケート 500メートル 優勝。
2013世界ジュニアスピードスケート選手権大会
スピードスケート 500メートル 優勝。第26回ユ
ニバーシアード冬季競技大会 スピードスケート 500
メートル 優勝。第86回日本学生氷上競技選手権
大会 スピードスケート 500メートル 優勝。第69
回国民体育大会冬季大会 スピードスケート 2000
メートルリレー 優勝。

浜田 千穂 日本体育大学 体育学部 体育学科 4年
〔スリリング〕2012年アジアジュニア選手権大会
55キログラム級優勝。世界ジュニア選手権59キ
ログラム級優勝。2014年女子ワールドカップ日本代
表55キログラム級団体戦優勝。全日本選抜選手
権大会55キログラム級優勝。世界学生選手権大
会55キログラム級優勝。

三井 梨紗子 日本大学 文理学部 体育学科 3年
〔シンクロナイズドスイミング〕ロンドンオリンピ
ック予選 シンクロナイズドスイミングチーム競技 3
位。ロンドンオリンピック大会 シンクロナイズド
スイミングチーム競技 5位。第27回ユニバーシア
ード競技大会 シンクロナイズドスイミングデュエ
ット競技、チーム競技、コンビネーション競技 2位。第
15回FINA世界水泳選手権大会 シンクロナイズ
ドスイミングチーム競技 4位。シンクロジャパン
オープン2014 デュエット競技、チーム競技 1位。

社会貢献分野 2名

田中美帆 立命館大学 国際関係学部 国際関係学 協力開発コース 4年
〔HIV女性支援〕ケニアのHIV女性と女子生徒支
援の為に布ナプキンプロジェクト立ち上げ。月経
の度に学校を休む少女たちの教育機会とHIV女
性の継続的な収入向上のため、布ナプキンの普及
と、貧困問題についての講演・プレゼンを行う。

米内 竜 名古屋大学 医学部 医学科 6年
〔震災復興支援・救急救命〕医療系学生の繋がりを
作る各種イベントの企画。東日本大震災復興支援
活動。学生救急救命サークルの立ち上げによる知
識や技術の普及、および医学講義動画や大学受験
講義動画の収録・配信による知識の共有を目的に
活動。